

## 花巻市社会教育委員会議 会議録

日 時 令和2年2月17日(月) 午後3時30分～午後5時00分  
場 所 花巻市役所本庁舎 3階 委員会室  
出席者 委員出席者16名 石橋恕篤議長、市川浜副議長、齊藤義宏氏、福盛田弘氏、伊藤昇氏、小原幸子氏、堀合範子氏、久保田廣美氏、高橋和恵氏、鎌倉公順氏、藤原安生氏(代理 湊一徳氏)、菊池清氏、佐々木さつき氏、佐々木繁夫氏、藤本眞津子氏、門馬優子氏  
委員欠席者4名 吉田靖雅氏、遠藤敦士氏、大原健氏、伊藤晴二氏  
市側出席者5名 市川生涯学習部長、藤原生涯学習課長、小原生涯学習課長補佐、菊池生涯学習係長、藤村主査  
説明者1名 畠山市民生活総合相談センター所長  
報道機関 1社  
傍聴者 1名  
次 第 1 開会  
2 あいさつ  
3 議題  
(1)令和元年度事業実施報告等について  
(2)生涯学習施設整備計画等について  
(3)新花巻図書館複合施設整備事業構想について  
(4)花巻市生涯学習振興計画について  
4 その他  
5 閉会

### 1 開会 (開会 午後3時30分)

事務局(小原補佐) 皆様お疲れ様でございます。ご案内の時間となりましたので、只今より、令和元年度第2回花巻市社会教育委員会議を開催させていただきます。始めに市川生涯学習部長より挨拶申し上げます。

### 2 あいさつ

事務局(市川部長) 今日は皆様お忙しい中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。今年度、2回目ということで、今年度の事業報告等とこれから

の計画、また、先日発表をいたしました図書館について、少し御説明をさせていただきたいと考えておりますし、生涯学習振興計画、これからの計画づくりについても、少し御説明をさせていただきたいと考えております。

3時半からという時間で大変申しわけありませんでしたが、時間も余りありません中ですが、たくさんの御意見をいただければと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

事務局（小  
原補佐）

続きまして石橋議長より御挨拶をいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

石橋議長

はい。最近のマスコミなどを見ますと、新型コロナウイルスというふうなことで話が持ち切りでございます。御挨拶にはなりませんけれどもですね、そういったような健康に関わる問題が議論されております。

私事で大変恐縮なんですけれども、昨日の日曜日ですか、私は花巻の大畑というところに住んでおりまして、そのこの地区で厄払いとか歳祝いをやるんだということでその会に出席しましたけれどもですね、出てくる話題というのは、そういうふうな歳祝いとかあるいは厄払いっていうふうなことも関わりがあるとは思いますが、やっぱり健康の話ばかりなんですね。そして最後に挨拶された地元の区長なんですけれども、病気とかそういうふうな災厄に罹らないようにしたいもんだと、それが本音だということをおっしゃっていました。

そのようにですね、健康は本当に我々の関心事であります。また活動の源でもあろうかと思うんですね。それで、コロナウイルスもどこが感染源なのかよく分からないというふうなことおっしゃいました。あるいは専門的な立場から、お医者さんの話などによりますとですね、マスクを使っても大した役に立たないと、マスクの方に失礼いたします。新聞での論調でございますので、そういうふうなことをおっしゃってまして、むしろ、手洗いとかうがいとかのほうが効果的ではなかろうかというのが、お医者さんの見解でございました。

我々は病理関係については専門ではありませんのでよく分かりませんが、予防法としてあれがいいと言えればですね、病気に罹りたくないから、一生懸命言われたことを忠実に守ってですね、生活をしていくことになろうかと思うんですね。

つきましては委員の皆様、あるいは市役所の職員の皆様もですね、健康に留意して、花巻の社会教育の発展のためにひとつ御尽力をというふ

うなことを僭越ですけれども、そんなことを思いながら、参りました。  
御挨拶にならない御挨拶でございます。ありがとうございました。

**事務局（小原補佐）**            ありがとうございます。それでは議題に入る前に、本日の会議につきましては、16名の出席をいただいておりますので、花巻市社会教育委員会議規則第7条の規定によりまして、成立いたしますことを御報告いたします。

### 3 議 題

**事務局（小原補佐）**            それでは、早速でございますが議題に入らせていただきます。これからの進行につきましては石橋議長様よろしく願いいたします。

**石橋議長**                    はい。議題に入る前に一つ皆様にお願いがございます。それはどういうことかといいますと、議事録の作成があります。そのためにマイクをですね、使用させていただきたいと思います。マイクの使用はちょっと私も手間取ってしまいましたけれども、台のボタンを押すと赤ランプが点灯する。その赤ランプを確認した上でですね、御発言をお願いいたしたいと思います。マイクの使用についてはですね、2人で1台ということになります。もう一つ、前の方の発言が終わってからですね、次の方の発言をお願いいたしたいと思います。

それではですね、これから議事に入ります。議事はですね、(1)令和元年度事業報告等について、とそれからそれに関するものとして、(2)生涯学習施設整備計画等について、併せて説明をお願い申し上げます。藤原生涯学習課長、畠山市民生活総合相談センター所長から説明をお願いいたします。

**事務局（藤原課長）**            (資料にもとづき説明)  
**畠山所長**

**石橋議長**                    ありがとうございます。それではただいま、令和元年度事業報告、生涯学習施設整備計画について、主に藤原課長、それから、畠山市民生活総合相談センター所長の2人の報告がございました。疑問、あるいは、こういうふうなことを伺ってみたいという事などございましたならば、挙手をしてお名前を申し上げていただければよろしいんですが、御質問ある方いらっしゃいませんか。

小原委員 5番小原と申します。ちょっとここに上ってくることでもなかったかなと思いますけども、東和に新しくコミュニティーセンターがお陰様で完成いたしました。たくさんの事業を行えるようになりまして、この間は映画会とかコンサートとか講演会とかを行って、素晴らしいというお話しでした。狭くはなりましてけれども、充実した設備です。

障害者の人たちが、喫茶店を設けているんですが、それが大盛況で、自会議が終わってはそこでたむろしながら、いただいてるという光景も見えますので、やはり設備をきちっと整えるということは必要なことかなと思ったりしております。

石橋議長 はい、御質問ではなくて、報告でございました。ただ今は小原委員さんからのお話でありましたけれども、他にございませんか。はいどうぞ。

門馬委員 門馬です。各種市民講座のことですけれども、高齢者学級、女性学級なども含みますが、花巻のほか、各地域で盛んに行われたわけですけれども、花巻以外の地域が全体合わせて何人という集計結果が出ておりますけれども、詳しく何人っていう報告は結構でございますが、実施した結果どうだったか。期待したほど集まらなかったとか期待以上だったとか、成果についての、何か感想がございましたらお願いします。

石橋議長 藤原課長お願いいたします。

事務局（藤原課長） はい。手元に詳しい資料はないのでございますけれども、やはりそれぞれの地域でなかなか面白い講座、特に東和さんは、様々な良い講座を展開しているようでございまして、報告で拝見したところ、非常に良かったというのが多かったように記憶してございます。具体的な部分については年度終了後に、詳しい数字については報告させていただければと思います。申しわけございません。

門馬委員 はい、ありがとうございます。後でよろしくお願いします。

石橋議長 はい。藤原課長。

事務局（藤原課長） はい。先程の講座の回数ですが、大迫は5講座、延べ22回。石鳥谷が12講座で延べ37回やっているということでございます。東和は、6講座

で延べ 34 講座ということでございます。高齢者学級につきまして大迫は延べ 331 名、石鳥谷の高齢者学級は延べ 185 名、東和は延べ 144 名ということでございます。女性学級でございますが、大迫は 48 名、石鳥谷は数字が出ていませんが、東和は 83 名が参加ということでございます。市民講座につきましては大迫が 71 名、石鳥谷が 328 名、東和が 158 名ということでございます。

**石橋議長**           ありがとうございます。今、数字が出ましたけども、門馬委員さんよろしいでしょうか。

**門馬委員**           数字は大変多いなと思いましたが、主催者側としては、概ね目標に達しているという感じでございますか。

**事務局（藤原課長）**   はい。そのようには思っております。

**門馬委員**           ありがとうございます。

**石橋議長**           はい、佐々木委員どうぞ。

**佐々木（繁）委員**   佐々木と申します。今報告いただきましたけれども、くまなく色々前年度等の反省を受けながら事業展開してるなっていうのが率直な感想です。とてもいいなと思いましたが、一つ、私からはですね報告なので、数的なものはもちろん大事なんですけど、中身のことについて、各事業をやるたびに振り返り、あるいは総括はしていると思いますが、あと（４）で、それを受けて計画を立てたんだよって言えばそれまでなんですけど、多分そうだと思いますが、言いたいのは、数値はもちろん大事。あとは期待目標も大事。問題はそれぞれの事業の成果、詳しくは必要ないんですけど、各部署ごとあるいは各イベントごとに、きちっと総括しているからいいわけなんですけど、やはりその、特筆する項目がありましたら、内容についての成果、数ではなくですね、あとはここをちょっと考える必要があるんだと、社会教育委員の皆さんなので、色々なことやって成果はたくさんあるんだけど、この件についてはちょっと、再考する必要があるとか、あるいは皆さんから意見いただきたいというのがもしあったら、詳しく全部じゃなくていいんですけど何か 1 点でも話せることがありましたら、お聞きしたいということです。

石橋議長            そういう話ですが、課長さん何かございますか。

事務局（藤原課長）       はい。御案内のとおりですね、色々な事業がございまして講座等が終わる都度にですね、アンケート等を取ってございます。また、最後に例えば5回講座であれば5回講座が終わった後に、全体を通しての意見をいただいているところでございます。様々意見等がございまして、次年度の講座にはそれを参考にして進めているというところでございます。

直近のところですね、先週、成人式の実行委員会の反省会がございまして、拝見したのですけれども、やはりその、一部二部あり、一部は行政主体で行っているところでございますけれども、圧倒的に実行委員会形式がいいという話がございまして、それは出席された方のアンケートです。実行委員会のメンバーではなくてですね、出席された方のアンケートでございまして、やはり自分たちが関わるといふ部分の、言ってみれば大人になった最初のイベントなんだろうなというふうに、その裏にはあるんじゃないかというふうに分析したところでございます。

様々な事業があるのですが、そういったところがまずございます。あとは岩手大学ですとか富士大学の講座等もやってるんですけれども、やはり非常に熱心にですね、毎年のテーマを変えて5回なり6回、テーマに沿った形で事業を実施してるんですけれども、皆さん勉強熱心でですね、報告とかを見ますと向学心に燃えてるんだなと感じたところでございまして、次年度以降も講座の大きなテーマ、どうしたらいいのかというのが逆に悩ましいというのが、うれしい悲鳴でございまして、そういった部分がございます。今の時代の要請というのも非常に感じるようなところがございました。

石橋議長            ありがとうございます。佐々木委員さん、よろしいですか。

佐々木(繁)委員       はい。

石橋議長            ほかに御意見ある方、菊池委員。

菊池委員            菊池と申します。すいません、2の(2)青少年の非行防止についてお伺いいたします。たくさん街頭補導活動、本当にお疲れさまでございます。今年度、補導に至った事があるかとか、それから、そこに至るまでの何か

問題点があったかっていうのをお聞きしたいです。それが1点。それからもう一つは、成人式なんですけど、今年度より、外国人も含めるとありますが、参加状況であるとか、どのようにして、お声掛けをしたのかということをお知らせいただければと思います。

石橋議長 いかがでございますか。はい、畠山所長どうぞ。

畠山所長 はい。少年補導に関することですが、当センターのほうで活動している少年補導員なんですけども、昼間の声かけ事案が主な活動になっておまして、ここ3年間はですね、補導の実績というのはないんですけれども、補導に関しては、夜とか警察のほうで補導活動を行っております。

補導内容になりますと、令和元年、これは暦年なるので年度ではないんですけれども、令和元年の数字が出てきておりますが、補導者数は162名になっており、平成30年が182名になっております。またその前の平成29年よりは、また更に減っている形になっておりますので、どんどん補導数は減っております。その内訳としましては、1番多いのは、深夜徘徊というふうになっております。深夜徘徊は20歳未満の方方で、午後11時頃から、翌日の午前4時頃まで、正当な理由なく夜歩いていた場合、深夜徘徊として補導されております。

ただその状況といたしましては、主に大学生であったり、有職少年ってということで、高校を出て働いている少年がコンビニエンスストアでたむろしてる場合に、補導のケースがありまして、高校生とかそういった歳のまだ少ない子供たちの補導数ではありません。以上です。

菊池委員 ありがとうございます。

石橋議長 はい、藤原課長。

事務局(藤原課長) はい。2点目の成人式の外国人の方の参加状況ということでございます。御案内のとおり、今年度から外国人の方にも御案内は差し上げたところでございますが、実績としましては参加者はなかったというところがございます。

石橋議長 ありがとうございます。はい、菊池委員さんよろしゅうございますか。ほかに御意見ございませんでしょうか。はい、市川委員。

**市川副議長** 市川です。成人式の話がありましたんで、関連して、ずっとずっと良くなったんですけども、厳粛であるべき式で、特に君が代を歌うとき、誰が見ても、あれで良しとはしないのではないかなと感じます。

というのは、ある一部の出席者なんですけども、わざと皆と合わせようとしなくて君が代を歌うっていう姿勢、何か思いやられるなっていう感がいたしました。きっと、出席したこの日の方々は、みんなそう思ったんじゃないかなと思いますけど、あの程度で済んだから良しとするかなと思ったかもしれませんけども、もう少し、これからの花巻を担ってくれる若者としてあれでいいのかと言いたいのですが、ここで言ったってそれはどうにもならないと思いますけども、しからばどうすればいいのかっていうことになろうかと思いますが、やっぱり構わないでおくっていうことは果たしていいのかな。そこら辺りはどんな風にこう思っているのか。主催者のやり方が悪いとかそういうのではなく、全く出席したある一部分の人たちの態度、やはりもう少し、花巻市の成人式だという自覚を持ってもらいたいなっていうふうに、そう思いました。

**石橋議長** ありがとうございます。市川委員さんからの御意見でございますね。そういうふうな考えが表明されましたけど、これについて何かございませんか。はい。鎌倉委員。

**鎌倉委員** 鎌倉です。今の君が代の件ですけど、私は成人式ちょっと見てないので、どういう状況で君が代が歌われた分らないのですが、そもそも君が代を小学校、中学校、高校なり歌う機会が昔よりは相当減ってる。卒業式だとか入学式だとか、そういうところでしか歌わなくて、普段の生活の中で、君が代がなかなか浸透し切れてない、君が代がどういう、国歌としてどういう意味合いをなしてるかっていうことを、教えることすらほとんどされてないような気がするんですよ。なので、そこはやっぱり若い段階から、きちっと国歌として君が代があって、こういう意味合いがあるということを、やっぱりしっかり教育の一つとして、取り入れていけば、成人式の時のそういう態度がもしかすると、少しは改善されるんじゃないかなと。いまの20歳の子が、いくら注意したって多分直らないでしょうから、小さい段階からきちっと君が代斉唱という時には、どういう気持ちで歌えばいいかとかとていうところも含めて、やっぱり教育をしていくべきなんじゃないかなというふうに思います。以上です。

石橋議長        ありがとうございます。鎌倉委員さんの御意見、感想でございましたけど、学校現場なんかではこの点はどういうふうに、教えてるものでしょうか。全然教えないもんなんでしょうか。ちょっと僕も分からないんですが。大学のほうではあんまりそういう事は、教えなかったような気はしているんですが。詳しい方いらっしゃいませんか。

齋藤委員        花巻小学校でございます。いつもありがとうございます。今、鎌倉委員がおっしゃったようにやはり幼少期から教育っていうのは、全てのベースになると思います。

君が代だけではなくて、やはり、小学校はその素地をしっかりと培いながら、それから、社会人というふうに、小中高大といくと思います。そういう点では儀式的な行事っていう部分、それから道徳の部分では、今、愛国心っていいですか、国を想うとか、そういう教科とか道徳とか、全体の中では置いてはいますけれども、1番はやはり、花巻が好きだというような教育、この町っていいよねっていう部分を味合わせる。それが段々日本っていいよねっていうような、そういう部分をどんどん、教育の中で常に培っていくっていうようなことは、現場の中では進めなければいけないし、教育の経営理念としては進めているというようなところは御理解いただければなと思います。

君が代を歌わないというようなことは、結局あとは社会の環境というか、状況っていうか、例えば身近にサッカーのチームがあるとか、野球のチームがあるとか、やはり国際試合が見なれてるとか、オリンピックがあるとかっていうと、当然その開会セレモニーで、やはり国を応援するという気持ち、そういう機会も含めて、やはり学校教育プラス社会の環境の中で、国に誇りを持つっていうような部分、そういうときに、やはり日本って良いよねっていう部分が、どんどんどんどん花巻でも生まれてくるっていうこと、一部、やんちゃで済むか済まないかっていう、一時的なものなのかどうかはあれなんですけれども、やはりそういう部分は、しっかりと教育の中、学校教育、社会教育、家庭教育の中では、大事にしていきたいなというふうには感じながら、学校教育に当たっております。すいません。回答にもなりませんけれども、想いでございます。以上です。

石橋議長        ありがとうございます。先ほどの市川委員さんは厳粛であるべき国歌斉唱なんだというふうなことでございましたか、いかがですか。

市川副議長        そういう状況だということも分かっていたいただきたい。出席された方々分

かっているのではないかなと思います。

**石橋議長**

私も成人式に出席いたしましたけど、確かに一部の人間が、聴衆を乱すようなのがありまして、嘆かわしいと思いましたがけれども、この聴衆を乱すような歌い方っていうのは、一過性のものなんでしょうかね、やっぱ根本的にどっかおかしかったんでしょうかね。僕は一過性のものであってほしいなど、本当は好ましくはないんですけども、そんなことを感じてですね。あるいは年頃ですのでね、多少目立ちたいということからやった面もあって、本人は少し反省してるかなあなんて勝手なことを想像してたんですけども、いみじくも、市川委員さんから御指摘をいただきましたので、我々も注意して、厳粛に歌いたと思います。ちょっと脇道に反れた感がございますけれども、ほかに何か御意見、御質問、あるいは感想等ございましたならば、拝聴いたしたいんですが、ございませんか。

**堀合委員**

堀合と申します。施設整備のことで、一つ気になったところがありますので、今後、検討していただければなと思います。各生涯学習会館とか生涯学園都市会館とか、エレベーター、それからトイレの洋式化が進んで、お年寄りや障害者にも優しいまちづくりが進められているなど大変嬉しく思っているところです。

利用して、小さいことなんですけれども、トイレの中は洋式化になりましたが、入り口の段差ですね。トイレのドアを開けて、すぐに入るところの、ほんの10センチにもならない段差ですけども、それがちょっと気になりまして、お年寄りとかは、つまずいたり、あるいは障害者とかも、ちょっと不便な思いをするのではないかなと。そういうところも見受けられました。その後、改善されているのかもしれませんが、そんなに高いお金ではなくて、使いやすいようになるのではないかなと思いましたが、是非点検なさって段差が解消すれば、ますます、使いやすい施設整備になるのではないかなと思います。

**石橋議長**

段差についての話がございましたが、いかがですかその点については。

**事務局（藤原課長）**

はい、その部分につきまして確かに段差等の部分、バリアフリーということをお考えますと、今後、そういった部分も検討しなければならないと当然思っておりますので、予算との関係もありますので、直ぐということにはなりませんけども、その辺を頭に入れながらですね、バリアフリーという部分で検討して参りたいなと思います。

石橋議長       ありがとうございます。ほかに御質問等ございますか。特になければ、次に移りたいと思いますけれどもよろしゅうございますか。

はい。それでは(3)新花巻図書館複合施設整備事業構想についてということですね、これについて市川部長さんから御説明をお願いいたします。

事務局(市川部長)       (資料に基づき説明)

石橋議長       ありがとうございます。今、市川部長から細かい説明等ございましたけれどもいかがでしょうか。御意見のある方はいらっしゃいますか。

佐々木(繁)委員       今、説明を受けましたけれども、まちの活性化のためっていう発想はとていいなと思いましたが、基本的には賛成です。ただ一つ話したいのはオガールは私もいろんな形、いろんな立場で行ってるんですが、オガールもいいですし、やはパーク、それも参考にさせていただきたいなと思います。第三セクターと一緒にやっていくのは、官だけではなく、民と協力して連携をやられてとていいわけなんです、そして住宅を建てる、これもいいと思います。ただ、やはパークに行くんですね、若い子育て、若い夫婦をフォローしてるっていうのは、あからさまに見えてとていいなと思ってるんです。

つまり、若い夫婦が、子供を連れて行きたくなるような施設にしていると。こどもセンターはまなび学園にあるんですが、特に車のない人もいることを考えれば、花巻駅ということを考えれば、非常にいい場所ではないかなと思いますので、言いたいのは住宅は賛成。でも今後の若い夫婦、あるいは子供たちが行きたくなるような、施設になってほしいと。車のない人もいますし、もちろん住宅は大事だと思うんですが、若い夫婦が行きたいな、あるいはそこに行くとも読めるし、買い物もできるしという形。やはパークも駅前にあるんですが非常に便利です。本ももちろんありますし、子供預かりみたいな子供センターみたいなものもあるし、カルチャーセンターのようなところもあるし、10人20人の団体はどうかなるんですが、5、6人ぐらいの団体でも趣味のサークルなどもうやれるし、簡単な調理もできるし、やっぱり駅のそばっていうのは1等地だということで、いろんな人が使いやすいように考えて欲しいと。もちろんバリアフリーもあると思うので、厳しい財政の中でこういうのは作るのはとていいことなので、やはパークもいいので参考にしながら考えてほしいと。基本的に

は賛成です。はい。以上です。

**石橋議長**        ありがとうございます。佐々木委員さんから、若い人たちが希望を持てるように、利用しやすいようにとかですね、希望というか要望が出たようでございますけれども、ひとつ委員の要望のあったということで、御記憶いただければ。市川部長。

**事務局（市川部長）**    はい。やはパークも参考にしたいと思えますし、若い人たちが来たくなるような施設、まちを目指したいっていうのもあります。あとなはんプラザもございますので、併せてできれば、なはんプラザとの機能分担、リニューアルをすとかですね、連携や、広場も整備したいと思っておりますので、そういう魅力あるまちづくりにプラスできないかなというふうに考えているところです。

**石橋議長**        はい、ありがとうございます。ほかに御意見ございませんでしょうか。要望の受付ということでございますね。そのほかでもですね。いかがでしょうか委員の皆さん何か。

**鎌倉委員**        鎌倉です。基本的にずっと図書館の新設は賛成です。ただ、今の建設予定地の広さを見ると、例えばやはパークのような開放感だとか、あそこはやっぱり面積が広くて開放的で、人が中心的に集まりやすいような環境づくりを頑張ってるやっっているなっていうのが見えるんですが、スポーツ用品店の跡地というところでいくと、狭い敷地の中でどれぐらいの魅力的な図書館がつくれるのか。全国見ると、やっぱり作り方が上手な図書館はすぐ市民に使われているっていう状況があるので、この面積の中で市民が集うというような、図書館づくりが果たしてできるものなのかっていうところが、ちょっと心配です。夕方のまなび学園を見ると、やっぱり高校生とか中学生が勉強していたりするんですね。

そういったところも、要は高校生、中学生が、高校生は花巻駅はよく利用しているので、勉強できるようなフリースペースみたいなのが、充実していたりとか、やっぱり人の出入りが多いと賑わいが出てくると思うので、そういうところは、念頭に置いて構想を立ててほしいなというふうに思います。

これに関連してですけど、その花巻病院の跡地っていうのは、私は情報取ってないので、どういうふうにしていこうって市が考えているのか。今回の発表前だと、まなび学園と上手く抱き合わせて、あそこに図書館でも

できればいいなど、私は個人に思ってたんですけども、そういうところも含めてお聞きしたいと思います。

石橋議長 はい、病院についての質問でした。市川部長。

事務局（市川部長） はい。広さ的に狭いんじゃないかなっていう感覚は持たれると思うんですが、現在のスポーツ用品店だけの大きさじゃなくてですね、もう少し長い大きさというふうに申せばいいのか、かなり広いスペースではあります。簡単に申せばこの市役所よりも大きいぐらいの規模で取れるぐらいのスペースがございます。この市役所の距離が 20 メーターぐらいしかないんですけども、場所の狭いほうは 24 メーターから 28 メーターぐらいとれるぐらいの大きさでございまして、イメージはあんまり広くない感じもあるんですけども、前の広場を整備するとすればですね、かなりゆっくりとしたスペースになるんじゃないかなと考えております。

もう一つ病院の跡地という点につきましてはですね、それも市の公共施設なりの整備をしていくことになろうかと思っておりますが、今のところまだ具体的に決まっているわけではありません。ただやはり病院が今建つてるところを整地して、市にいただくというような形になりますけども、整地の度合いがどのようになるのかっていうのもございまして、やはりお城の堀のイメージは少し残していきつつ、何か、公共で使えるようなものがあるのではないかなというふうには考えておりますが、まだ少しそこまで具体化をしていない状況と認識しています。

石橋議長 はい、ありがとうございました。鎌倉委員さんよろしいでしょうか。

鎌倉委員 ありがとうございました。

石橋議長 はい。久保田委員さん。

久保田委員 すいません久保田ですけども、この図書館整備に関しては、基本構想を定める段階でも、市民の皆様、委員の皆様から色々な意見を頂戴して策定していると思います。

ですから、まちづくりのため、ということもあるんですけども、基本構想を作成した時の意見とかも参考にしながら、やはりより良いものを作っていただければなと思います。もう決まってしまったから終わりということではなくて、周辺の方々の意見も必要だと思いますし、それぞれ市

民の皆さんの意見もこれから聞くということですので、それらを踏まえて、できるだけ使いやすい、みんなが愛してくれる、図書館作りをしていただければと思います。以上です。

石橋議長 はい、ありがとうございました。菊池委員。

菊池委員 菊池です。今の久保田さんに賛成で、私もアイーナにしょっちゅう行くんですけども、アイーナの図書館は鎌倉さんがおっしゃったように、ちょっと小洒落ていて外から見ても良いということです。ちょっと気になったのが、2020年にもう選定とか設計に入ることになって、2020年度設計までということは、基本設計か何かに入るってということなんですよね。そして、2023年度にはもう設計して、その年には工事っていう話なので、今、おっしゃったような、そういう時間的なものっていうのはもう大分進んでるっていうふうに解釈してよろしいんでしょうか。

石橋議長 はい。市川部長。

事務局（市川部長） はい。資料でですね、現段階でのスケジュール、予定ということで書かせていただいたんですが、目安としてですね、やはり気になるのは、もし、作ったらいつ頃できるんだっていうことを聞かれるのが多いものですから、このようなペースでいけばこの辺りにはできるし、早ければこういきたいってことであります。1年間かけて基本構想策定したいというのは2020年の今まで申し上げたところなんです、これがやはりまとまらない、いろんな意見があつてやはり少しかかるっていう可能性も考えられるとは思っております。ただそうしますと、その分少しく遅れていくかなっていうような、全体のイメージを掴むための目安というふうに考えていただけるとありがたいなと思います。

石橋議長 ありがとうございます。あとですね、大変急がせて申しわけないんですけどもですね、時間が迫っておりますので、次に進ませていただきたいと思います。（4）花巻市生涯学習振興計画について藤原課長から説明をお願いします。

事務局（藤原課長） （資料に基づき説明）

石橋議長            ありがとうございます。これについて、時間の許す範囲内で御質問あれば、拝聴いたしたいんでございますが、はい。佐々木委員。

佐々木（繁）委員       色々あるんですが1点だけ。若葉小の後に防空監視しょうを整備してていいなと思いました。先人の人たちを将来の子供たちのために広めたいと、例えば、揆奮という花巻の先人を分かりやすくしたものをまとめてあったんですが、佐藤昭孝さんが花巻の先人百人という、厚い本なんです。それを作ったり、武徳殿かな鶴陰碑という文武両道の先人、江戸時代後期からのそういう人たちの名前もあるんです。それで先人顕彰があるので、それを参考にしながら、やれる範囲内で充実、あるいは啓蒙する手だてを考えてほしいなということです。詳しい人いっぱいいるんだけど、段々伝える人が少なくなってきたし、あと伝えてるんだけど、市民に伝わってないこともあるので、ぜひ先人を何らかの形でいいので広めてほしいと、そういう希望です。

石橋議長            ありがとうございます。

事務局（藤原課長）       はい。大変ありがとうございます。当課としてもですね先人顕彰の部分で担当してございますので、なかなか先人を発掘するのは大変でございますけれども、共同企画展なりですね、博物館等とも協力しながら努めているところでございます。逆に何か情報等ございましたらば、遠慮なくですね、そういった方々の情報がございましたらば、お知らせいただければ、なお、ありがたいなというふうに思っています。

石橋議長            ありがとうございます。

佐々木（繁）委員       情報はいっぱいあるので、佐藤昭孝さんの本がちょっと厚いんですが花巻の先人100人っていうのはありますし、色々あるのでその道の人に聞けば残ってるはずです。

事務局（藤原課長）       はい、わかりました。今の話を参考にしながら、ちょっと発掘に努めて参りたいなと思います。ありがとうございます。

石橋議長            ありがとうございます。私の進め方が本当にまずくてですね、皆さん、各委員さんの貴重な御意見をまだまだ拝聴できるものと思っておりますけども、時間の制約がございまして、お伺いできませんでした。

その点本当に反省しなければならぬと思っております。これで本日の議題は、終わりということにいたします。本当に皆さん、貴重な御意見ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

事務局（小原補佐） 石橋議長ありがとうございました。それでは次第第4その他に移りたいと思います。委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。

（発言するものなし）

事務局（小原補佐） 無いようですので市川部長より御挨拶申し上げます。

事務局（市川部長） はい。本日はお忙しい中また、短い時間で、大変申しわけありませんでしたが、貴重な御意見、ありがとうございました。特に図書館につきましては市民の関心も高いと思っておりますし、なかなか分かりづらい面がございまして、これからしっかり説明をして参りたいと思っておりますが、今回、少し考えていただいてから何か御意見があったりとかです、御質問がありましたら、遠慮なく生涯学習課のほうに連絡いただければ、私どもも全く構いませんので、お話をいただければ、というふうに考えております。せっかく作る図書館でありますので、みんなに使われる良い図書館にしていきたいというふうに思っておりますし、皆様方もそのようにお考えだというふうに私も思っておりますので、期待に応えられるようにやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

## 6 閉会

事務局（小原補佐） 長い時間にわたりまして、委員の皆様からたくさん貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。これをもちまして、令和元年度第2回花巻市社会教育委員会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。